



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90. 9. 3 No. 3276

千葉労働学校へ全力で結集を!

第4回講座 とき 9月8日13時
ところ 労働者福祉センター

侵略に断を
! 反動をぶ
ち破れ!

動労千葉第IV期第四回労働学校が、今秋闘争のさきがけとして九月八日(土)一三時より千葉県労働者福祉センターにおいて開催されます。

今回は、「激動へ向かう世界(その2)―偽りの緊張緩和・軍縮を暴く」と題して、軍事評論家として著名な山川暁夫先生をお招きし、今日の世界情勢をその軍事的側面から暴き出す格好の講座内容となっています。

世界は「マルタからヤルタ」へ、米・ソ超大国を中心としたサミットにおける「ニューデタント―緊張緩和」なる空語を

一瞬のうちに吹き飛ばし、イラクのクウェートへの軍事進攻と、それに対するアメリカを中心とする「多国籍軍」の中東侵略への突進によって、「世界の火薬庫」たる中東情勢を加速度的に、緊張と侵略のつぼへと叩き込んでいます。

激動の九〇年代を象徴するがごとく、今や時代は大変なうねりをみせています。

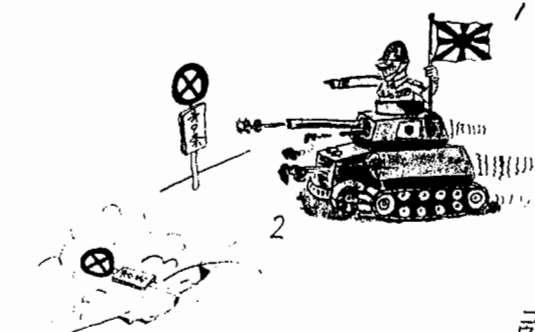
中国の「天安門事件」、ペレストロイカに端を発した「ベルリンの壁」崩壊―西側資本の大量流入による搾取と市場独占(再占有)、バルト三国の独立宣言、米帝のニカラグア進攻・パナマ侵略―軍事優先から「経済優先」へと転換せざるを得なかった米・ソの経済的疲弊



テーマ 『激動へ向う世界(その2)』
『偽りの緊張緩和軍縮を暴く』
講師・山川暁夫(評論家)

八月二十九日には、「中東貢献策」と称して、中東侵略戦争の事実上の参戦国として名のりをあげました。

まさか恐るべき事態が進行しようとしています。また、「戦後政治の総決算―国鉄「分割・民営化」「教育改革」を大きな柱に、総評解体―「連合」の発足を含め、闘う労働運動を圧殺し、今また天皇制イデオロギ―



憲法9条が危ない!
(反核.マ.カ.作品集ヨリ)

闘争スケジュール	
九月五日	「スト損害賠償請求公判」 東京地方裁判所 一三時一五分より
九月七日	「組合掲示板等便宜供与差別事件」 地労委第二回審問
九月八日	千葉県地方労働委員会 九時三〇分集合 第四回動労千葉労働学校 千葉県労働者福祉センター一三時
九月一〇日	「第一二回動労千葉団結祭典」 第一回実行委員会 動力車会館 一八時

を背景として、不安定・不確実そのものの状況をあらわにしている。そして「強いアメリカ」の復権にかける米帝の思惑の中で、侵略の足音がいや高くなっているのです。

こうした世界情勢をうけ、日帝支配階級は、自衛隊の本格的な海外派兵への道を強引にこじあげようとしています。

八月二十九日には、「中東貢献策」と称して、中東侵略戦争の事実上の参戦国として名のりをあげました。

まさか恐るべき事態が進行しようとしています。また、「戦後政治の総決算―国鉄「分割・民営化」「教育改革」を大きな柱に、総評解体―「連合」の発足を含め、闘う労働運動を圧殺し、今また天皇制イデオロギ―

「日の丸・君が代」を旗印に、「外に侵略、内に反動」へと出て出てきています。

十一月「即位の礼・大嘗祭」を焦点として、天皇制攻撃の嵐が吹きあれようとしています。

一方における闘う拠点(労働者・人民の砦) 三里塚二期工事へ向けた、成田治安立法の全面的適用などを見たとき、確実に

今回の講座はその意味においても、時期・内容の点から言っても実にタイムリーかつ、学習する要旨の全てを含みうるものと考えるところです。組合員の皆さんの奮闘への参加を要請するところです。

に敵の反動の波は、われわれ労働運動の側にもかかってきていると言えま